

6 - 2 中国東部・近畿北部・北陸地域における地震活動 (1982年1月～1982年6月)

Seismicity in the Eastern Chugoku, Northern Kinki and Hokuriku Districts,
Southwest Japan (January, 1982-June, 1982)

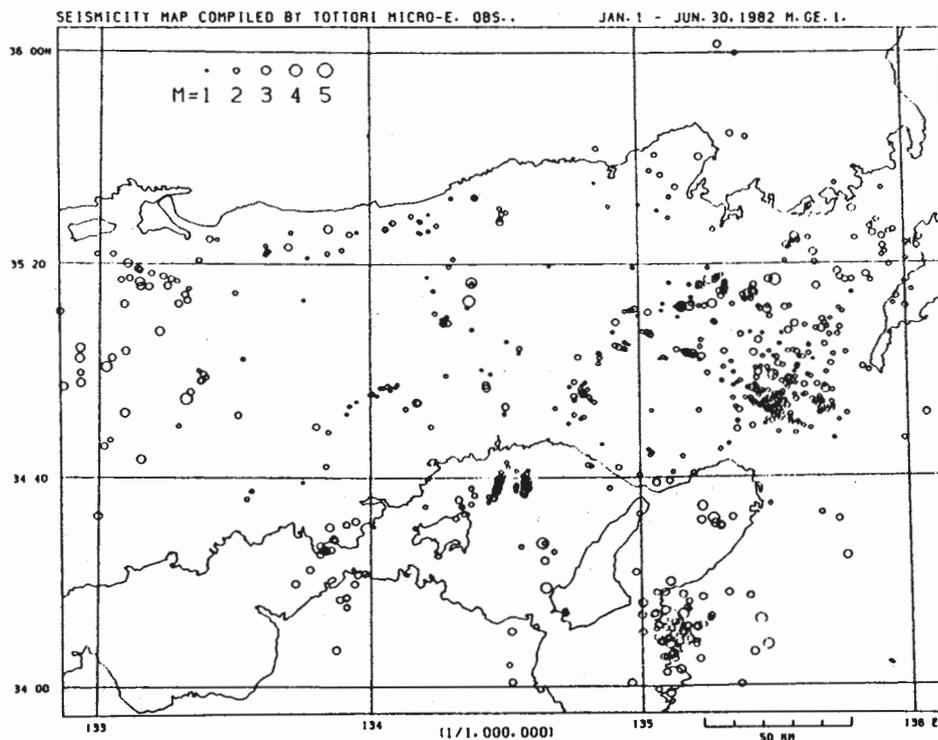
京都大学防災研究所・鳥取微小地震観測所

北陸微小地震観測所

京都大学理学部・阿武山地震観測所

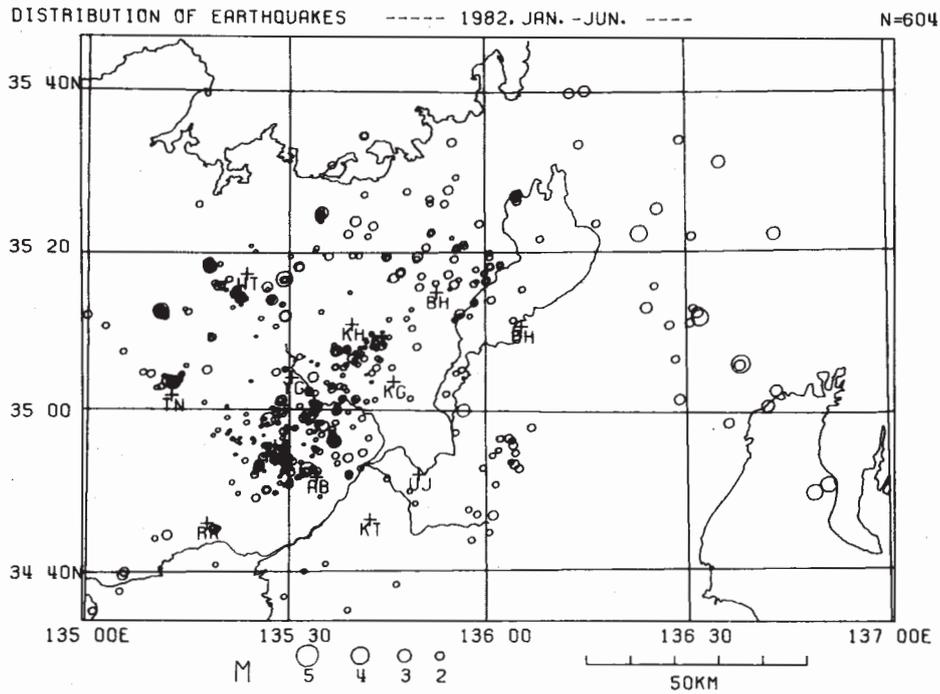
Tottori Microearthquake Observatory and Hokuriku Microearthquake
Observatory, Disaster Prevention Research Institute, Abuyama
Seismological Observatory, Faculty of Science, Kyoto University

本期間は、鳥取（第1図）、阿武山（第2図）、北陸（第3図）のいずれの観測地域でも、一般的に地震活動は低調で、特に著しい活動は認められなかった。ただ、第1図の山崎断層北西端附近（ほぼ $35^{\circ}10'N$, $134^{\circ}20'E$ ）に $M \sim 3.5$ の地震2個が南北に連なって起こっているが、この場所は図で判るように、直径50～60kmのほぼ円形の aseismic area の西縁部に当り、ほぼ同じ所に、1973年9月 $M 5.1$ の地震が起っていることは注目に価する。



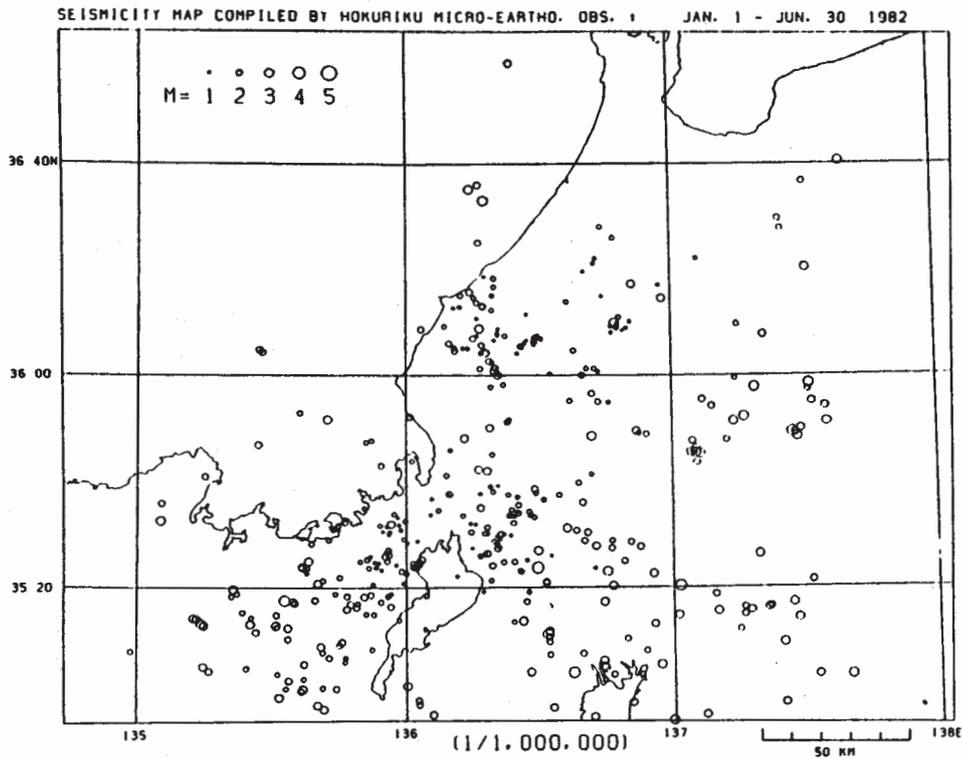
第1図 鳥取微小地震観測所による震央分布図（1982年1月～1982年6月）

Fig. 1 Seismicity map by the Tottori Microearthquake Observatory (January, 1982-June, 1982).



第2図 阿部山地震観測所による震央分布図 (1982年1月~1982年6月)

Fig. 2 Seismicity map by the Abuyama Seismological Observatory (January, 1982-June, 1982).



第3図 北陸微小地震観測所による震央分布図 (1982年1月~1982年6月)

Fig. 3 Seismicity map by the Hokuriku Microearthquake Observatory (January, 1982-June, 1982).